



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2018年 3月16日 No.225

# なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

## じっしょう 実証されつつある伝承 奈良の大仏と ながのぼり 長登銅山

出前授業で訪れた美祢市立重安小学校がある美祢市は、「奈良の大仏さまのふるさと」と言われています。美東町長登には、昔から「奈良の大仏を建立する際、銅を献上したので、奈良登りがなまって長登になった」という伝承がありました。東大寺で発掘調査をしたところ、大仏を造ったときにできた青銅の塊が出土しました。これを分析したところ、長登の銅であると推定され、伝承が徐々に実証されつつあります。長登銅山の歴史は古く、7世紀末の飛鳥時代には採鉱が開始されていました。古代の役所「採銅所」があった銅山の跡からは、須恵器や土師器などの土器や奈良時代の木簡（文字を書くために使われた短冊状の木の板）も出土しています。今年、柄付きの刀子（小刀のような道具）がみつかったことが発表されました。参考文献『解説長登銅山跡』美東町教育委員会



国指定史跡長登銅山跡 花の山精錬所跡 大切4号坑（古代の坑口） 東大寺盧舎那仏像

幕末長州藩の流れを変えた場所が美祢でした。幕府に恭順を示す保守派と幕府との戦いに備える革新派との争いに決着をつけたのが、美祢で起こった大田・絵堂の戦いでした。革新派の高杉晋作（187号参照）、伊藤俊輔（博文）（210号）、山県狂介（有朋）らが率いる諸隊（奇兵隊や遊撃隊などの総称）が、保守派の萩政府軍と戦闘を行いました。革新派は、少ない人数でしたが、新しい兵器や林勇蔵（184号）、本間源三郎（204号）ら庄屋の援助を受け、政府軍を破ります。その結果、長州藩は藩の方針を「武備恭順」とし、倒幕へ向けて動き出すこととなります。諸隊の本陣が置かれた金麗社には、大田・絵堂の戦いに関わる記念碑が多く建てられています。また、美祢市の西厚保は、来島又兵衛（188号）が住んだ場所で、厚保小学校裏の旧宅址に銅像が建てられています。参考文献『美東町史』



金麗社



大田絵堂戦跡の記念碑



（川上の戦い）（香水峠の戦い）（絵堂の戦い）



萩政府軍本陣跡の門

（右柱に弾痕が残る）



来島又兵衛像



山口博物館では、平成30年度に明治150年を記念した展示を準備しています。ご期待ください。